

# 北之園千春氏が教育長に再任

平成31年3月19日、第1回中種子町議会において、北之園千春氏を教育長に再任することが同意されました。



※平成31年4月16日  
再任辞令交付

## 主な経歴

- 北之園 きたのその 千春 ちはる (62歳・旧川内市出身)
- 昭和56年3月 長崎大学教育学部卒業
  - 昭和56年4月 長崎県教育委員会入庁
  - 昭和58年4月 鹿児島県教育委員会入庁
  - 平成8年4月 県立中種子高等学校教諭 (平成13年3月まで)
  - 平成26年4月 県立枕崎高等学校校長 (平成28年3月退職)
  - 平成28年4月 中種子町教育長

## 再任のごあいさつ

町民の皆様方のお力添えをいただきまして教育長職を再任することとなり、心より感謝申し上げます。

今年度から中種子町教育行政の目標を「風に向かって立つ中種子の人づくり」と定めました。子どもたち一人一人に目が届くきめ細かな指導に努めるとともに、集合学習やICTの導入な

ご指導の改善に取り組んで参ります。安心・安全な学校環境づくりに取り組みます。

また、社会教育では、生涯学習を推進・拡充し、ふるさと文化の創造と保護に努めます。生涯にわたる健康づくりとスポーツの振興にも取り組んで参ります。

皆様の期待に応えられるよう全力を尽くす覚悟です。どうぞよろしくお願いいたします。

## 地域おこし協力隊通信 (No. 32) てげてげでよかぁ～ (便利さの果て)

便利は素晴らしいですが「過ぎる」便利が私をダメにしました。

移住する一年ぐらい前、家の前にコンビニが出来ました。それまでの最寄り徒歩5分。5分が0分になり『より便利↓より快適』になると思って喜んでいましたが、そうではなかった事を気付かせてくれたのは体重です。増えた理由は歩く距離が減ったからではなく、食べる量が増えたからです。徒歩5分だと避けられたコンビニが目の前になると、どうしても立ち寄ってしまいます。レジの周りには誘惑がいっぱいで、ショーケースの唐揚げがキラキラと光っています。帰宅するたび、その光に吸い寄せられる虫のように、たいして欲しくもないモノを抱えてレジに並んでしまいます。

で、もともと低かった管理能力がさらに落ち込んでしまいました。

移住して2年半。コンビニがあればいいなと思った事はありますが、無くて困った事はありません。コンビニで売っているモノはすべて町で買えますし、深夜に買わなくても日中に買い物をしてあげば済む事です。

それよりも活気とされるマニユアル化された絶え間ない呼びかけや、あちらこちらから垂れ流される音楽から抜け出た解放感が強く、地域にあった「適度」なサービスの方が心地よく感じています。

私をダメにしたのはもう一つあります。いつでも店が開いている便利さによって「何がどれだけ残っているのか?冷蔵庫の中は?日用品は?」と家の中にあるモノを考えなくなりしました。いつでも買えるという恩恵

今、世の中の「過ぎる」が見直されています。コンビニの営業時間にしかり過剰な価格競争、働き方の改革など。お客さまのため、会社のため、家族のため。いずれも、よりよくなるために行きついたカタチ。ですが時代が変わり、そんなカタチが姿を変えようとしています。

さあ、令和の時代はどんなカタチに変化していくのでしょうか?

(松田)